

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成17年11月10日(2005.11.10)

【公表番号】特表2001-518803(P2001-518803A)

【公表日】平成13年10月16日(2001.10.16)

【出願番号】特願平10-545776

【国際特許分類第7版】

C 12 N 15/09

【F I】

C 12 N 15/00 Z N A A

【手続補正書】

【提出日】平成17年3月16日(2005.3.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 手 続 補 正 書

17.3.16  
平成 年 月 日

特許庁長官 小 川 洋 殿



1. 事件の表示 平成10年特許願第545776号

2. 補正をする者

事件との関係 出願人

名 称 エスアールアイ インターナショナル



3. 代理人

住 所 東京都千代田区丸の内3丁目3番1号  
電話(代)3211-8741

氏 名 (5995) 弁理士 中 村 稔



4. 補正命令の日付 自 発

5. (本補正により請求の範囲に記載された請求項の数は合計「9」となりました。)

6. 補正対象書類名 明細書

7. 補正対象項目名 請求の範囲

8. 補正の内容 別紙記載の通り



## 請求の範囲

1. 相同的組換えにより真核生物接合体内の予め定めた標的DNA配列に標的化された配列修飾を作成する方法であって、

少なくとも1つのリコンビナーゼ及び少なくとも2つの一本鎖ターゲッティングポリヌクレオチドを少なくとも1つの真核生物接合体へ導入する工程を含み、

該ポリヌクレオチドは互いに実質的に相補的であり、かつ各ポリヌクレオチドは該予め定めた標的DNA配列に実質的に一致しているか又は実質的に相補的である相同クランプを有していることを特徴とする方法。

2. 相同的組換えにより細胞内の予め定めた標的DNA配列に標的化された配列修飾を作成する方法であって、

該修飾が挿入を含み、

少なくとも1つのリコンビナーゼ及び少なくとも2つの一本鎖ターゲッティングポリヌクレオチドを少なくとも1つの細胞へ導入する工程を含み、

該ポリヌクレオチドは互いに実質的に相補的であり、かつ各ポリヌクレオチドは該予め定めた標的DNA配列に実質的に一致しているか又は実質的に相補的である相同クランプ及び内部相同クランプを有していることを特徴とする方法。

3. 相同的組換えにより原核細胞内の予め定めた標的核酸配列をターゲッティングかつ改変し、標的化された配列修飾を作成する方法であって、

少なくとも1つのリコンビナーゼ及び少なくとも2つの一本鎖ターゲッティングポリヌクレオチドを少なくとも1つの原核細胞へ導入する工程を含み、

該ポリヌクレオチドは互いに実質的に相補的であり、かつ各ポリヌクレオチドは該予め定めた標的核酸配列に実質的に一致しているか又は実質的に相補的である相同クランプを含んでいることを特徴とする方法。

4. 相同的組換えにより原核細胞の染色体外配列の予め定めた標的核酸配列をターゲッティングかつ改変する方法であって、

a) 少なくとも1つのリコンビナーゼ及び少なくとも2つの一本鎖ターゲッティングポリヌクレオチドを該染色体外配列へ付加し、改変染色体外配列を形成する工程であって、該ポリヌクレオチドは互いに実質的に相補的であり、かつ

各ポリヌクレオチドは該予め定めた標的核酸配列に実質的に一致しているか又は実質的に相補的である相同クランプを含んでいることを特徴とする工程、

b) 該リコンビナーゼを除去する工程、及び、

c) 該改変要素を原核細胞へ導入する工程、

を含むことを特徴とする方法。

5. 染色体外配列中の予め定めた標的核酸配列の変異核酸配列のプールを生成する方法であって、

少なくとも1つのリコンビナーゼ及び一本鎖ターゲッティングポリヌクレオチドの複数の対を該染色体外配列へ付加し、改変染色体外配列のライブラリーを作成する工程を含み、

該ポリヌクレオチドは互いに実質的に相補的であり、かつ各ポリヌクレオチドは該予め定めた標的核酸配列に実質的に一致しているか又は実質的に相補的である相同クランプを含んでおり、

該複数の対が、該ターゲッティングポリヌクレオチドと該標的核酸配列との間のミスマッチのライブラリーを含んでいることを特徴とする方法。

6. 予め定めた標的核酸配列の変異核酸配列を含む細胞ライブラリーを生成する方法であって、

少なくとも1つのリコンビナーゼ及び一本鎖ターゲッティングポリヌクレオチドの複数の対を標的細胞集団へ導入し、変異核酸配列を含む細胞ライブラリーを作成する工程を含み、

該ポリヌクレオチドは互いに実質的に相補的であり、かつ各ポリヌクレオチドは該予め定めた標的核酸配列に実質的に一致しているか又は実質的に相補的である相同クランプを含んでおり、

該複数の対が、該ターゲッティングポリヌクレオチドと該標的核酸配列との間のミスマッチのライブラリーを含んでいることを特徴とする方法。

7. 標的細胞の染色体外配列の予め定めた標的核酸配列の変異核酸配列を含む細胞ライブラリーを作成する方法であって、

a) 少なくとも1つのリコンビナーゼ及び一本鎖ターゲッティングポリヌクレオチドの複数の対を染色体外配列へ付加し、複数の改変染色体外配列を作成す

る工程であって、該ポリヌクレオチドは互いに実質的に相補的であり、かつ各ポリヌクレオチドは該予め定めた標的核酸配列に実質的に一致しているか又は実質的に相補的である相同クランプを含んでおり、該複数の対が、該ターゲッティングポリヌクレオチドと該標的核酸配列との間のミスマッチのライブラリーを含んでいることを特徴とする工程、

- b) 該リコンビナーゼを除去する工程、及び、
- c) 該改変配列を標的細胞集団へ導入し、該変異核酸配列のライブラリーを形成する工程、

を含むことを特徴とする方法。

8. 少なくとも1つのリコンビナーゼ及び一本鎖ターゲッティングポリヌクレオチドの複数の対を含む変異ライブラリーを含む組成物であって、

該ポリヌクレオチドは互いに実質的に相補的であり、かつ各ポリヌクレオチドは予め定めた標的核酸配列に実質的に一致しているか又は実質的に相補的である相同クランプを含んでおり、

該複数の対が、該ターゲッティングポリヌクレオチドと該標的核酸配列との間のミスマッチのライブラリーを含んでいることを特徴とする組成物。

9. 請求項8に記載の組成物及び少なくとも1つの試薬を含むキット。